

令和7年10月27日

調査研修報告書（議員用）

報告者：木山 義仁

実施場所： ・衆議院議員会館（東京都千代田区）	実施日： 令和7年10月6日（月）～10月7日（火）
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） 【政策勉強会・国との意見交換】 ○ 国の事業に関する直近の情勢や今後の方向性等の情報収集と併せ、本市の現状と課題を国へ伝えることによる、国の政策への反映を要望することを目的とした。	
■参考とすべき事項 【政策勉強会・国との意見交換】 ○ 国の事業に関する直近の情勢や今後の方向性 ・水田政策について、令和9年度から根本的に見直す方向で検討が進められている。 ・米については、国内外の需要拡大策や、スマート技術の活用等による生産性向上策を強力に推進する方向。 ・二地域居住等の促進として、先導的な取り組みのモデル形成の支援や官民共創のプラットフォームの構築を進め、二地域居住者の負担軽減等の解決に向け、支援を行っていく。 ○ 本市の課題解決に向けた国の政策への反映 ・農業者の高齢化による離農等により、農業の担い手不足や耕作放棄地の拡大が深刻な状況。 ・首相（当時：石破首相）は、米の増産に舵を切ると表明しているが、米の需給緩和による米価の下落が懸念される。需要に応じた生産が必要。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） 【政策勉強会・国との意見交換】 ○ 国の事業に関する直近の情勢や今後の方向性 ・国の政策の方向性を徹底して理解することが必要であり、政策の見直しスケジュール等をふまえたうえで、市の制度の見直しが必要。 ○ 本市の課題解決に向けた国の政策への反映 ・本市の現状や課題が、国の施策へ反映されるよう継続して対話を行うことが必要。	